

災害時における、衛星画像とSNS画像を活用した 「24時間365日働く」災害監視システム開発実証

実証プロジェクト分野 (あてはまるものに○)
農林水産業、自動運転、環境(○)防災(○)インフラ維持管理、交通、
物流、金融・保険、スポーツ(○)国土強靱化(○)その他()

サービス利用者名

大分県 生活環境部 防災局 防災対策企画課
福井県 土木部 政策推進グループ

サービス提供者名

株式会社 Spectee、(一財)リモート・センシング技術センター

プロジェクト概要(200文字程度)

水害及び雪害において、衛星画像を活用した「宇宙からの目」とSNSの画像を活用した「地上からの目」をもとに、それらを組み合わせて解析することで、それぞれの弱点を補い、「24時間365日働く」災害監視の目を開発することを目的とした実証プロジェクトです。

1. 現状・課題

災害時の初動対応には、リアルタイムに正確な情報が必要

衛星データ
広範囲に夜間や悪天候でも情報を取得できるがリアルタイム性に欠ける



SNS情報(+ライブカメラ)

リアルタイムに情報を入手できるが、人のいるかカメラが設置してあるところの情報に限られる

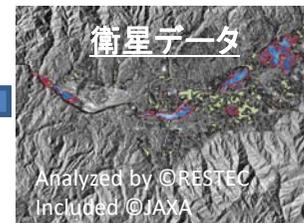


Spectee

2. 実証内容

(1)水害浸水推定域の判定

無人(SNS投稿なし)の場所を衛星データの
情報で補完し、より広範囲&的確な浸水域情報を発信する。



浸水状況推定例

(2)積雪による道路スタック状況の判定

衛星画像を活用した大雪や滞留状況の検知、及びSNSや道路カメラ等の画像を活用したスタック発生検知を行い、発信する。



冬季路面状態判別例

3. 効果

災害対応の迅速化とより実用的な防災計画の策定

- 水害発生時の初動対応に必要なリアルタイムかつ正確な浸水域を把握～対策立案を迅速化できる。
- 広域な情報把握が難しい積雪情報を、道路スタック対策に必要な情報がタイムリーに把握～対策立案を迅速化できる。

現状のサービス(Spectee Pro)に追加

